

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ -----
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 124 号 2017.5.10
□ ■ □ -----

本日 5 月 10 日から 16 日までは愛鳥週間です。日本では 1947 (昭和 22) 年から始められたこの期間は、最初の頃は 4 月 10 日をバード・デーと呼んでいました。しかし冬鳥がまだ多いということで、5 月 10 日からの 1 週間に変更されました。

梢の上で愛らしく鳴く声、何鳥だろうと思ったらどうぞ図書館に調べにいらしてください。中央図書館では、趣味のコーナーに「バードウォッチング」に関する本を集めています。

■ ■ 図書館からのお知らせ □ -----

◆市役所返却ポスト移転のお知らせ

○市役所が仮本庁舎（南八幡 2 丁目 20 番 2 号）へ移転することにもない、同施設内に設置してあります返却ポストが 5 月 19 日（金）で利用を終了します。

ご迷惑をおかけしますが、他の返却ポスト、又は図書館窓口をご利用ください。

○なお、市役所の最寄返却ポストは、旧八幡市民談話室です。

○仮本庁舎への返却ポストの設置は 5 月 21 日（日）を予定しております。

○返却ポストの設置場所と利用時間の詳細はこちら

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/guide/1005.html>

■ ■ テーマ展示 □ -----

◆「建築物 フランク・ロイド・ライト生誕 150 周年」（中央図書館／5～6 月）

近代建築三大巨匠の一人、フランク・ロイド・ライト（1867－1959）の生誕 150 年を 6 月に迎えるにあたり、中央図書館では「建築物」をテーマとした特集展示を行っています。

歴史ある神社や教会、奇妙な形をしたビルなど数多くの建築物が私た

ちの周りにあります。心に残る「建築物」にどんな背景やこだわりの工夫があるのか、様々な角度からお楽しみください。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1215.html>

○展示の本からご紹介します。

◇『未完の建築家フランク・ロイド・ライト』エイダ・ルイーズ・ハクスタプル／著（TOTO 出版 2007）

フランク・ロイド・ライトは、生涯で 1,000 件以上の設計を行い、500 件近い作品を完成させています。代表作として、世界一有名な住宅といわれる「落水荘」、多くの弟子たちが学び生活した「タリアセン」、日本では「旧帝国ホテル」などが有名で、91 歳で亡くなる直前まで、精力的に建築に取り組みました。

天才的な才能を持っていたライトですが、その私生活は波乱に満ちたものでした。農場での労働に耐えた少年時代、妻と 6 人の子どもを棄てての逃避行、殺人事件や幾度もの破産など、次々に襲ってくる逆境を乗り越える度に、新たな名建築を生んでいきます。洗練された建築物の背後にある、人間味溢れるライトの生涯に触れると、数々の作品に対する感じ方も変わってくるかもしれません。

◇『火山のふもとで』松家仁之／著（新潮社 2012）

大学を卒業したばかりの青年が、浅間山のふもとにある、老建築科の設計事務所で過ごしたひと夏の物語です。

質実で美しい建物を生み出してきた、知る人ぞ知る設計事務所に運よく採用された「ぼく」は、優れた技術をもつ先輩達とともに、先生の最後の大作になるであろう、大規模な図書館の設計コンペに向け準備を進めていきます。そしてコンペは意外な結果へ…。自然に囲まれた山荘での真摯な仕事ぶりや先生の姪との淡い恋など、長野の澄んだ空気を感ずるような作品です。

老建築家のモデルは、東山魁夷と美術学校の同級生であり、市川の東山邸も設計した吉村順三です。作中ではフランク・ロイド・ライトに直接師事した設定など、あくまでフィクションではありますが、隠れた使い心地を重視する老建築家の姿勢や建築について語る言葉が、吉村順三に重なります。

.....
◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
